

<討議内容>

日 時:令和3年11月16日(火)

場 所:白山台放課後等デイサービスみゆ～みゆ～指導訓練室にて

出席者:放課後等デイサービス部 全スタッフ

内 容

職員による評価	令和3年10月1日～令和3年10月15日
保護者による評価	令和3年10月1日～令和3年11月1日
事業所全体による評価	令和3年11月8日～令和3年11月13日

評価期間を設け、みゆ～みゆ～スタッフで討議を行う。

<事業所職員>

●関係機関や保護者との連携
25・26・27・28

●保護者への説明責任等
32・37

・以上の項目の「いいえ」の数値が高くなっている。何れも地域交流といった外部との関りに関する項目である。現状、コロナ禍ということで外部との繋がり、活動に制限を設けていることが要因であることが明確である。今後、コロナの完全終息は見込めないことを考慮し、コロナの中でも出来る範囲で活動の見直し、工夫の必要性を感じている。

・今年度から『虐待防止委員会』を設置し、事業所内での虐待防止研修、様子を見ながら外部講師を招いた研修など積極的に実施していきたい。

<保護者から>

●環境・体制整備

2:職員の配置数や専門性は適切であるか

はい:18 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1

⇒当所では、落ち着いた環境での療育、支援が出来るよう、職員の配置を基準以上に配置しています。また、職員のメンタルも配慮した配置を心掛けています。

●適切な支援の提供

5:活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

はい:17 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0

⇒ここでいう活動プログラムとは、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることを想定されたものです。

なるべく固定化しないようにプログラムは組んでいます。一人ひとりの達成状況を図

るために継続して行うプログラムもあることは事実です。今後も個々の特性を見極めながら、且つ将来を見据えながらの取り組みをしていきたいと思ひます。そして大事にしたいのは、どうしても子ども達は結果だけを見がちです。そこに至るまでのプロセスを大事にし、「自分で考える力」「感じ方」といった心の教育にも力を入れていきたいと思ひます。

6:放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
はい:1 どちらともいえない:5 いいえ:1 わからない:11
⇒ここは、やはりコロナの影響が大きく、なかなか交流が難しいところもあります。今後、何らかの形で、出来るようになればと思ひます。

●保護者への説明等

10:父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が視線されているか

はい:6 どちらともいえない:6 いいえ:1 わからない:6
⇒これに関しても、また参観習慣などを設けるなど考えていましたが、やはりコロナ感染症のことを思うと、何より、子ども達、お母さま方の職場への波及を懸念しております。緩和されたとはいえ、その後の拡大が心配です。実施するとしても、小人数での開催を検討したいと思ひます。

●非常時等の対応

16:非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか
はい:16 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3
⇒年間の避難訓練実施計画を作成し毎月、実施しています。来年度4月の切り替えの時には、ニュースにもなりました送迎車に児童を取り残し死亡するといったケースを受け、改めて点呼確認の徹底を図る訓練を実施したいと考えています。特に、非常災害となると職員もパニックになります。平日頃からの訓練を徹底していきたいと考えています。

プラス面 強み(Strength)

- ・スヌーズレンルーム
- ・パーソナルスペースの広さ
- ・多種多様の事業での体験実習が可能(就労プログラム)
- ・ベテランスタッフ(経験者)、専門職を配置したことで、別視点からの支援、またスタッフ同士での学びが出来るようになった

マイナス面 弱み(Weakness)

- ・謙虚さ、学ぶ姿勢を忘れないようにすること。
- ・もっともっと丁寧な対応を心掛けること。
- ・コロナ禍の中で、どう社会資源を利用しながらプログラムを組めるか。インクルージョンの視点からの活動内容も含め検討する必要がある。
- ・チームでの課題や活動を心掛ける。
- ・情報の共有、そして情報の提示を丁寧にしていく。

来年度の目標(改善点)

- ・コロナ禍において、地域交流、保護者会、外部研修といった活動が出来ずにいた。実際、終息したわけではないので、常に感染予防の徹底を図る。BCP を活用しながら、コロナだけではなく、感染症予防に関する研修を実施していきたい。
- ・コロナ禍でもできる活動を見極めながら進めていきたい。
- ・感染状況を常時確認しながら、保護者会、保護者参観が出来ればと考えている。
- ・保護者様からの、お声にもあります『放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会』が、現に実施されていないことを踏まえ、今後検討の余地があると思われる。少人数から、地域交流活動として障がいのない子どもと活動する機会が設けていきたいと思う。